

わくわく!

英

語

あ

そ

び

レポート

年中から始まる「英語あそび」の時間って、どんなことしてるんだろう？先生はどんな感じの方なんだろう？—皆様のそんな「気になる！」にお答えすべく、年中の英語あそびの時間に潜入！

後半は先生へのインタビュー、「目からウロコ」が一杯です！

6月下旬、年中組の7回目の英語あそびに潜入して参りました！

年中組の英語あそびは火曜日の午前中、1クラスにつき20分間行われています。担当されているのは土井由美先生(Yumi先生)と槇理恵先生(Rie先生)。子どもたちは先生方がお部屋の外で待機されている段階ですすでに「早く英語あそびしたい！」とウズウズしている様子。Yumi先生はヘッドマイクを装着し、ギターを抱えていらっしゃいます。

“May I come in?”という先生方の声に“Please, come in!”と答える子どもたち。お部屋に入ってヘッドマイクを拡声機に繋ぎ、Yumi先生と子どもたちが“Good morning!”と挨拶しあうところからスタート。



先生の“How are you today?”にはみんな元気に“I’m good!”と答えます。次にお天気の問題。先生の“How’s the weather today? Is it rainy?”の問いかけに、子どもたちは口々に“Sunny!”とか“Cloudy.”などと答えます。

1人1人の発言に「少しお日様が出ていますね、でも曇も多いかな。It’s sunny and cloudy.」と丁寧に答えていらっしゃるYumi先生、日本語でも説明を加えていらっしゃいます。

“Touch, touch, touch, touch your . . . head!”と言いつつ頭を触るYumi先生。あそびの始まりを子どもたちは即座に感じとり、サッと頭を触ります。先生の“Touch your . . . knees! Touch your . . . toes!”という声かけにも、パッパッと膝と爪先を触って素早く反応。先生がゆっくりギターを弾きはじめ“Head and shoulders, knees and toes . . .”と歌い始めると、子どもたちもすぐ一緒に歌い始めます。子どもたちがとても集中しているのがわかります。優しいギターの音色がお部屋に広がり、きっと子どもたちの心もほぐれるだろうな、と思っていると、Yumi先生から「よく聞いてね、『へー』じゃないよ、head、だよ」とさりげなく発音に注意を向ける声かけ。きちんとした発音が子どもたちの記憶に残るよう気を配って下さっています。“This time, can you shake? Shake your head!”と今度はバリエーションをつけて頭や膝を揺らす流れに。Rie先生がお手本になって、目や耳が歌詞に登場する部分でも、目や耳を工夫して揺らしてみてください、子どもたちも楽しそうに真似をします。「次はもっと早く！」バタバタした動きに子どもたちからも先生方からも自然と笑いがこぼれます。

Yumi先生が、ジャン、とギターを弾き、クイッと肩を揺らして「アハン！」と歌うと、子どもたちも「アハン！」と応えます。続けて“A-hunting we will go . . .”と歌い始めるYumi先生。一瞬にして次の歌に切り替わります。「狩りに出かけてキツネを捕まえてまた逃がそう」という内容の童謡です。“catch a little fox”という歌詞の部分でYumi先生が両手でキツネを捕まえるふりをし、子どもたちも真似します。

「先生ね、昨日の夜“catch, catch”っていっぱい捕まえてきたの」とご自身のシャツを指差すYumi先生。シャツには一面にキツネの顔のイラストが！ 素敵な先生のユーモアとお心遣いです。子どもたちは立ち上がり、今度は捕まえられるキツネの方になり、先生方は手を繋いで「通りゃんせ通りゃんせ」のようなゲートを作り、“catch a little fox”のタイミングで腕を降ろして子どもたちを捕まえます。みんな大興奮です！



“It’s time for us to go, it’s time for us to go . . .”と歌い始めるYumi先生、英語あそびの時間が終わりに近づいています。最後には“See you later, alligator! In a while, crocodile!”と、ワニさんたちが出てくる駄洒落のようなお別れのご挨拶。先生方が腕でバクバクとワニさんの真似をします。最後まで楽しい英語あそび。子どもたち、とても名残惜しそうでした。

